

【表紙】

【提出書類】

臨時報告書

【提出先】

関東財務局長

【提出日】

2025年 5 月15日

【会社名】

株式会社エルアイイーエイチ

【英訳名】

Life Intelligent Enterprise Holdings Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】

代表取締役社長 下岡 寛

【本店の所在の場所】

東京都中央区銀座八丁目 9 番13号

【電話番号】

03(6458)6913(代表)

【事務連絡者氏名】

経理部長 山口 和也

【最寄りの連絡場所】

東京都中央区銀座八丁目 9 番13号

【電話番号】

03(6458)6913(代表)

【事務連絡者氏名】

経理部長 山口 和也

【縦覧に供する場所】

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【提出理由】

当社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号および第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出いたします。

2【報告内容】

1．当該事象の発生年月日

2025年5月14日（取締役会決議日）

2．当該事象の内容

（1）連結の特別損失

固定資産およびのれんの減損損失の計上

当社グループにおいて、経営環境の悪化による収益性低下の可能性が生じたため、当社及び当社子会社が保有する固定資産及びのれんにつきまして、投資額と投資期間全体を通じた回収可能額の今後の見通しを比較、検討した結果、回収可能性がないと判断した1,302百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。減損損失計上額の内訳としまして、当社の固定資産8百万円、当社子会社である老松酒造株式会社の固定資産192百万円、株式会社エフミートの固定資産8百万円、株式会社創育の固定資産114百万円、株式会社なごみ設計ののれん149百万円、MAGパートナーズ株式会社ののれん410百万円、づくり株式会社ののれん0百万円、株式会社京竹ののれん16百万円、式会社フェニックス・エンターテイメント・ツアーズののれん402百万円となっております。

関係会社株式売却損の計上

当社は、当社の持分法適用関連会社である株式会社エス・サイエンスの保有株式のすべてをKAYLEO BROTHERS LIMITEDに譲渡し、137百万円を関係会社株式売却損として特別損失に計上いたしました。

ガバナンス委員会関連費用の計上

当社は、当社の内部統制システム及びコーポレート・ガバナンス等の問題点における事実調査に要した費用67百万円を、ガバナンス委員会関連費用として特別損失に計上いたしました。

支払和解金の計上

当社は、当社が提起されていた訴訟について、当社が相手方原告に対して和解金を支払うことで和解に合意し、支払った和解金90百万円を支払和解金として特別損失に計上致しました。

（2）個別の特別損失

関係会社株式評価損

当社の連結子会社において、経営成績および財政状態の悪化により、当社が保有する株式の実質価額が著しく低下することになったため、関係会社株式評価損として株式会社エフミート10百万円、老松酒造株式会社172百万円、株式会社フェニックス・エンターテイメント・ツアーズ425百万円、MAGパートナーズ株式会社453百万円、株式会社なごみ設計158百万円をそれぞれ特別損失に計上いたしました。

なお、関係会社株式評価損は連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

貸倒引当金繰入

当社連結子会社に対する当社からの貸付金につきまして、経営成績および財政状態が悪化している子会社について貸倒引当金を計上することといたしました。計上する貸倒引当金繰入額として株式会社エフミート480百万円、株式会社創育489百万円、株式会社創研70百万円、株式会社TransCool50百万円をそれぞれ特別損失に計上いたしました。なお、貸倒引当金繰入額は連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

3．当該事象の損益および連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、2025年3月期において、下記のとおり特別損失を計上いたします。

連結決算

減損損失 1,302百万円

関係会社株式売却損 137百万円

ガバナンス委員会関連費用 67百万円

支払和解金 90百万円

個別決算

関係会社株式評価損 1,219百万円
貸倒引当金繰入額 1,090百万円